

事業提案

事業者：九州北清株式会社（所在地：小林市）
資本金：5,000万円 業種：産業廃棄物処分業 従業員数：80名

事業名：データ活用のためのBI構築事業

BIツール



データドリブンな経営と戦略的な事業展開へ活用するBI構築

事業者：九州北清株式会社（所在地）
資本金：5,000万円 業種：産業廃棄物処分業 従業員数：80名

【概要】

- ・昨年度のデータ基盤構築事業にて構築したデータ収集基盤を活用し、BIツールへデータを取り込み分析を行いデータドリブン経営を実践する。

【主な取組】

- ・BIツールに取り組む情報の精査と取り込むための環境構築
- ・BIツールに取り込んだ情報を使用しての分析と活用促進

【事業の目標】

（定性目標）

- ・BIツールを用いた経営
- ・構築したBIツールについての課題発見

（定量目標）

- ・廃棄物単価の見直しの効率化や、在庫管理による廃棄物処理の効率上昇による労働生産性年1%の向上

【取組を行う背景】

- ・在庫量をリアルタイムで把握することができない
- ・単価の見直しが年に1度となっており、適切な価格での取引ができていない

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- ・作成したBIの活用促進のための人材育成
- ・分析結果を再評価し、予測値を高精度化する取り組みを行う

事業スキーム

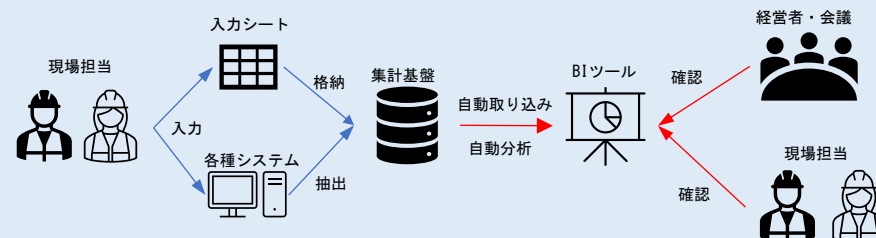
昨年度実施済

現場担当が各種ツールに情報を入力し、集計基盤に格納する。

本事業で実施

集計基盤に格納された情報をBIツールに取り込み、分析結果を表示する。

会議や現場での情報活用を各担当者が見たいときにBIツールで確認する。



【効果（成果）】

- ・会議のたびに担当が集計し会議資料を作成していたものを自動で集計しグラフを表示できるようになった。
- ・欲しい情報を欲しい時に見れるようになったため、情報活用を全社的に行っていく環境が構築できた。
- ・資料作成に係る時間 年24時間の短縮。

【今後の課題】

- ・構築したBIを使用する中で、必要となった情報を表示するためのデータ収集や画面回収の対応。
- ・従業員に対しての継続した活用促進の取り組み。